

屋外広告物 景観形成のコンセプト

屋外広告物は、周辺の景観に好影響を与え、まちなみの魅力を高めるものとなるよう、設置場所や方法、規模に留意するとともに、デザイン、色彩、素材に配慮しましょう。

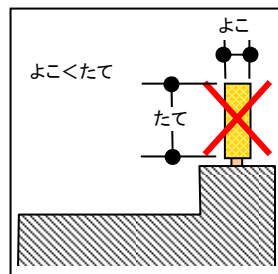
設置場所

- 広告物の設置場所は、豊かな植栽や松並木への眺望を妨げない所としましょう。
- 歴史的な資源の周辺は、説明板等の資源に関するもの以外の看板等は、設置しないようにしましょう。
- 海岸沿いに野立看板は設置しないようにしましょう。

設置位置

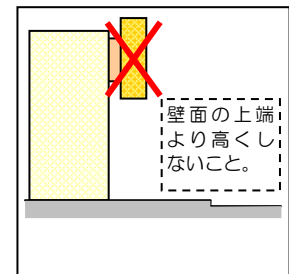
- まちなみの一体感に配慮し、同じ街路に面した同一街区の看板は、同じ高さに設置するよう努めましょう。
- 壁面の広告物はできるだけ低層部に設置するようしましょう。

屋上に設置する広告物の縦横比は、横÷縦 \geq 1となるようにする



表示方法

- 広告物は同一内容のものを連続して表示しないように努めましょう。
- 建物の総壁面積に対する広告物の表示面積はできるだけ小さくし、通りに面する正面の壁面は極力掲出量を抑えるように努めましょう。

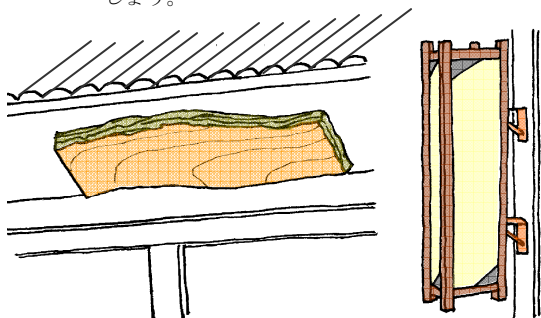


- 閃光を発したり、動いたりする看板ではなく、間接照明を施すなど、控えめなデザインとすることでイメージアップを心がけましょう。
- 日よけテントは原則として看板に使用しないようにしましょう。やむをえず使用する場合は、デザインに十分配慮し、まちなみと建物との調和に配慮した落ち着いたものとしましょう。

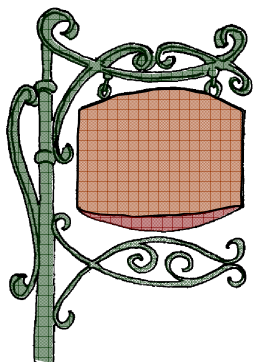
デザイン・色彩

○看板には、木、金属、プラスチック、ネオンランプ、帆布など様々な素材がありますが、建物全体と調和した質の高い素材を選びましょう。

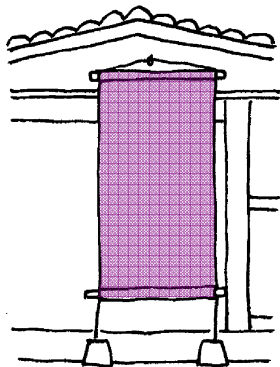
- ・木 木の持つ暖かみでうるおいある景観をつくりましょう。



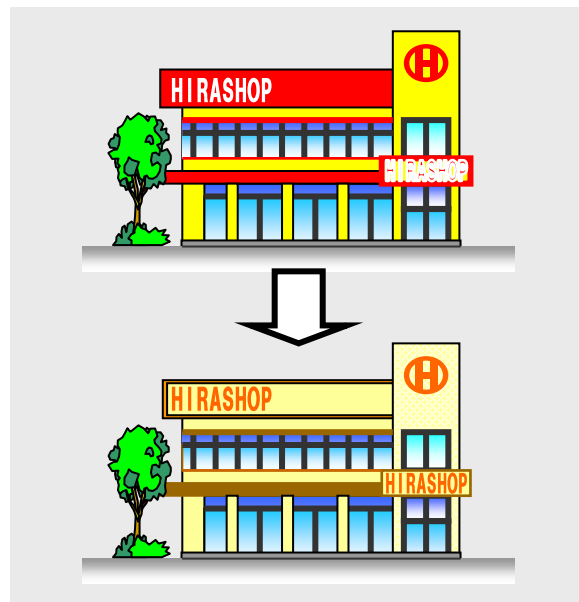
- ・鋳物 鋳物の持つ格調と独特な重量感をいかしましょう。



- ・布 のれんや日よけ幕などによる和の雰囲気をかきましょう。



○広告物に使用する色彩は原色や突出色を避けた配色としましょう。特にベースカラーは彩度を抑え、素材をいかしたナチュラルカラーやアースカラーなどを用いるようにしましょう。コーポレートカラーなどの彩度が高い場合は、ベースカラーではなく、文字などの表示色として使用しましょう。



○伝統色は、地域性に根ざしたものであり、自然や周囲の環境とよく調和します。歴史の感じられる地域ではこれらを積極的に活用し、広告物に風格と落ち着きをもたせましょう。

